

研究課題 (テーマ)	ダ・ヴィンチ祭 富山県立大学看護学部新設特別企画 「カンちゃん楽しく学ぼう！看護の世界」の実施		
研究者	所属学科等	職	氏名
代表者			
ダ・ヴィンチ祭 実行委員会		実行委員長	岸本 崇生
研究結果の概要			
<p><概要></p> <p>2019年4月に看護学部が新設されたことに伴い、新たに看護学部の教員及び学生が主体となり、ダ・ヴィンチ祭において看護学部のPRの実施及び看護学を身近に感じていただくことを目的に、特別企画を実施した。</p> <p>教員及び学生による主体的な運営を進めながら、学生のリーダーシップや社会性（コミュニケーション能力）の向上と、今後の入学生となりえる現小・中学生に対しても、県大への興味を惹く魅力的な企画作りを目指し、実施に必要な資金面での支援を行った。</p> <p><実施状況></p> <p>今年度は、看護学部の教員が中心となり、教員間、学生との情報共有等を密に行った。</p> <p>第2回の実行委員会から看護学部の教員も実行委員として委員会に加わり、数回の準備打ち合わせを行った。</p> <p>各企画にはカンちゃんパネルやデコレーション等に工夫を行い、来場者へのホスピタリティー向上や安全性確保に関しても予算を活用した。</p> <p><結果></p> <p>結果（プログラムによる成果）は、以下のとおりである。</p> <p>(1) 看護学部より5企画（学生、教員及び事務局 計27名）が参加した。本助成金を活用して、各出展には実施に必要な資金面での支援を行うことができた。</p> <p>(2) 参加学生には、来場者への平易で興味を惹く解説を実施してもらった。その結果として、当日の印象やアンケート結果では、来場した小・中学生のみならず、保護者からも好評であった。</p> <p>(3) 延べ939名の来場者が集まった。子どもたちが様々な看護学を身近に感じ、興味を持ってもらうきっかけになったと考える。</p>			
今後の展開			
<p>第25回ダ・ヴィンチ祭においては周年特別企画として実施すべく、本プログラムに申請予定である。今年度の実施状況、反省点、および当日の写真等は今後の参考資料としてまとめてあり、より準備の円滑化や事務仕事のスリム化などにつながる改善案もいくつか挙がっている。</p> <p>次回開催においても、さらに来場者の満足度が高い特別企画を目指して、実施準備を進めていく予定である。</p>			